

岡崎の桜まつりには、毎年多くの方が訪れ、岡崎公園一帯の桜は市民を始め、多くの観光客の方に親しまれています。この他にも市内には、桜を楽しめる場所がまだまだあります。このマップに掲載されている場所はほんの一部ですが、市内の知られざる桜の名所を紹介します。

なお、駐車場がない場所があるため、お出かけの際には、近隣にお住まいの方のご迷惑にならないよう公共交通機関をご利用いただくなど、ご協力をお願いします。



1

岡崎公園・乙川・伊賀川

夜桜の情景は東海随一と言われており、「日本さくら名所100選」に選ばれている。桜まつりの期間中は夜桜照明が実施され、乙川の河川敷にはたくさんの露店が並ぶ、市内最大のお花見スポット。乙川には観光船が運行され、船に乗りながら花見を楽しむこともできる。伊賀川沿いには遊歩道が整備されており、ウォーキングをしながら花見を楽しむことができる。

名鉄東岡崎駅から徒歩で約15分
 東名高速道路岡崎ICから約10分

3月 4月

開花：3月下旬～4月上旬



岡崎城天守閣



乙川河川敷には露店が並びます



伊賀川沿いの遊歩道



2

伊賀橋から東へ約2.0km

伊賀川

稲熊町付近から伊賀八幡宮まで、さくら小橋周辺では桜のトンネルのような情景を楽しむことができる。桜まつりの期間中は夜桜照明が実施される。

名鉄東岡崎駅より名鉄バス「岡崎駅前（光ヶ丘経由）」行き、岡崎北高前下車 徒歩約2分
 東名高速道路岡崎ICから約10分

3月 4月

開花：3月下旬～4月上旬



3

中央総合公園

園内には多数の桜が植えられている。市民球場を囲むような形で桜並木になっており、駐車場もあるためゆっくりと花見を楽しむことができる。平成28年には新たに170本の桜の苗木が植樹され、新たな桜の名所として苗木を育成している。

名鉄東岡崎駅より名鉄バス「中央総合公園」行き、中央総合公園下車
 東名高速道路岡崎ICから約5分

3月 4月

開花：3月下旬～4月上旬



4

奥山田しだれ桜

1300年ほど前、持統天皇が村積山へ行幸した際に御手植えされたと伝えられるエドヒガンの逸品。咲き始めはソメイヨシノより早く、高さ17mから流れ落ちるように咲き誇り、その優美な樹木と淡紅白色の花の美しさが、多くの花見客を魅了する。夜桜照明あり。

名鉄東岡崎駅より名鉄バス「北斗台団地」行き、3号公園前下車 徒歩約15分
 伊勢湾岸道豊田東ICから約15分

3月 4月

開花：3月中旬～3月下旬



5

乙川

市民の有志によって平成13年に植えられた河津桜。地元では「葵桜」と呼ばれて親しまれており、竜美丘会館の裏手となる乙川の堤防沿い約600mが濃い花色で埋め尽くされる。

名鉄東岡崎駅より名鉄バス「岡崎駅前（光ヶ丘経由）」行き、竜美丘会館前下車 徒歩約1分
 東名高速道路岡崎ICから約10分

3月 4月

開花：3月上旬～3月中旬



6

法蔵寺

徳川家康公がお手植えされたと伝わるヤマザクラで現在は3代目。家康公が幼き頃、学問に励んだとされる開運にも縁のあるお寺で、風情豊かな旧東海道沿いにあり、名鉄本宿駅からウォーキングがてら訪れるにはお薦めの場所。

名鉄本宿駅から徒歩で約10分
 新東名高速道路岡崎東ICから約10分

3月 4月

開花：3月下旬～4月上旬



7

上地八幡宮

薄黄緑色の珍しい桜で、つつましかやかな色から「美人桜」と呼ばれている。約300年前に幕府より下賜されたもので、主幹は枯渇したが、子株により綿帽子のような美しい形となった。

名鉄東岡崎駅より名鉄バス「南部地域交流センター」「福岡町」行き、願成寺下車 徒歩約1分
 東名高速道路岡崎ICから車で約17分

3月 4月

開花：3月中旬～4月下旬



8

信号「北斗台口」から東へ約1.5km

北斗川

奥山田しだれ桜の北側を流れる北斗川沿いの桜並木。遊歩道が整備されており、ウォーキングをしながら花見を楽しむことができる。

名鉄東岡崎駅より名鉄バス「奥殿陣屋」行き、北斗台口下車
 伊勢湾岸道豊田東ICから約15分

3月 4月

開花：3月下旬～4月上旬



9

かおれ渓谷

かおれ街道（県道35号）沿いにある乙川上流の渓谷。春の桜のみではなく、夏の緑陰、秋の紅葉など四季折々の自然が満喫できる。

名鉄東岡崎駅より名鉄バス「桜形」行き、桜形下車 徒歩約7分
 新東名高速道路岡崎東ICから約25分

3月 4月

開花：4月上旬～4月中旬



10 青木橋から東へ約800m

3月 4月

開花：3月下旬～4月上旬

青木川

名鉄東岡崎駅より名鉄バス「奥殿陣屋」「東名岩津」「三河上郷駅」「川向」「足助」行き、青木町下車 徒歩約1分
 伊勢湾岸道豊田東ICから約12分

男川

名鉄本宿駅より名鉄バス「額田支所前」「石原」「くらがり渓谷」行き、堰山口下車 徒歩約4分
 新東名高速道路岡崎東ICから車で約4分

早川

愛知環状鉄道大門駅より徒歩約4分
 東名高速道路岡崎ICから約17分



12 池田橋から北へ約1.6km

3月 4月

開花：3月下旬～4月上旬



13 簗川橋から南へ約1km

3月 4月

開花：3月下旬～4月上旬

竜泉寺川

名鉄美合駅より名鉄バス「羽栗」「本宿」行き、尾尻下車 徒歩約4分
 東名高速道路岡崎ICから約11分



14 森下橋の周辺約600m

3月 4月

開花：4月上旬～4月中旬

ほつきゅう 保久川

岡崎市立下山小学校から西へ徒歩約8分
 東名高速道路岡崎ICから約26分



15 千万町橋から西へ約200m

3月 4月

開花：4月上旬～4月中旬

乙川

旧千万町小学校向い
 新東名高速道路岡崎東ICから約25分

岡崎市さくら MAP

見どころ地点（主な樹種）

染井吉野（ソメイヨシノ）
江戸時代末期に江戸染井村（現東京都豊島区）の植木屋が「吉野桜」として売り出したと伝えられています。伊豆半島で自然にできたものを染井村の植木屋が持って帰り、苗を増殖して売り出したものといわれていましたが、染井村で作り出されたとする説もあります。

枝垂桜（シダレザクラ）
江戸彼岸の枝が枝垂れたもので、その他の性質は江戸彼岸と違います。江戸彼岸と同様に個体により花色や花の大きさに変異が多くみられます。

河津桜 カワヅザクラ
原木は伊豆半島の河津町・飯田典延邸にあり、1950年頃に野生していたものをここに移植したといわれています。寒緋桜と他種との雑種と推定されます。

山桜（ヤマザクラ）
本州、四国、九州、朝鮮半島に分布する野生種です。成木の成葉裏面が帯白色になる特徴があります。品種として葉、葉柄、小花柄などに毛がある薄毛山桜が知られています。

鬱金（ウコン）
東京の荒川堤で栽培されていた品種です。淡黄緑色の花色が、ウコンという植物の根茎を使って染めた色（鬱金色）に似ていることからこの名がつけられたといわれています。

桜の苗木を植えています

市制100周年を迎えた2016年、市の花「ふじ」に並んで、新たに「さくら」が指定され、新たな桜の名所づくりとして苗木の植樹が行われました。桜が咲き誇る日を楽しみに、みんなで苗木の成長を見守っていきましょう。

江戸彼岸（エドヒガン）
本州、四国、九州に分布する野生種。彼岸の頃に開花するのでこの名がつけられました。花柱基部、小花柄、葉柄などに毛が多く、がく筒がつぼ形であるという特徴があります。

神代曙（シンダイアケボノ）
原木は東京都調布市・神代植物公園にありアケボノと呼ばれていましたが、異なる品種であることが発見され、植栽地と旧名に因んで名づけられました。ソメイヨシノ系の品種で花色が淡紅色でやや濃くなります。

八重紅枝垂（ヤエベニシダレ）
京都の平安神宮に1895年、仙台市長であった遠藤康治が献上したものといわれています。別名の遠藤桜は明治年に遠藤が仙台市内に植えたためといわれています。

陽光（ヨウコウ）
愛媛県東温市の高岡正明により、天城吉野に寒緋桜を交配して作出された品種で、1981年に種苗法に基づいて品種登録がされました。

舞姫（マイヒメ）
多くの八重桜は葉が出てから開花しますが、「舞姫」は「染井吉野」と同じように葉が出る前に花が咲きます。そのため、樹全体が花で覆われる観賞性の高い桜です。「染井吉野」のやや後に開花するやや早咲きの八重桜として、「舞姫」は桜の名所づくりに適した品種です。

アーコレード
英国で大山桜と小彼岸の交配により育成された品種です。英国での開花期は春とされていますが、日本では環境条件によるものか、春と秋（9～11月）の二季咲きとなっています。十月桜に比べ、花が大輪で花色もやや濃色の美しい品種です。

天の川（アマノガワ）
東京の荒川堤で栽培されていた品種です。枝が上向きに伸びて円柱状の樹形になるので狭い庭にも適しています。

出典元：日本花の会

